

株式会社アップルファーム



代表取締役
渡部 哲也 氏

●企業の概要

企業名：株式会社アップルファーム
代表者：代表取締役 渡部 哲也
住所：仙台市若林区六丁目字南97-3
e-環境仙台ビル1F
設立年：平成22年（創業：平成21年）
業種：障害福祉事業（飲食店経営）
資本金：8百万円
従業員数：115名

●事業の概要

当社は、障害福祉事業として障害者雇用施設（飲食店、農園、コンサルティングなど）を運営。事業の中心であるビュッフェレストラン「六丁目農園」では、従業員の半分以上を占める障害者を雇用している。「障害者を納税者にする」「やり甲斐と生き甲斐の創造」という理念のもと、一般的に戦力とされていない障害者を職人集団に育て、質の高い料理・サービスを提供し、障害者の自立支援と企業としての収益性の両方を実現しつつある。



本社兼店舗



店舗看板

障害者を職人集団に育て、福祉的支援と民間的収益性のバランスを兼ね備えた新しいビジネスモデルとして障害者福祉施設（飲食店）を運営



調理風景



メニュー



店内風景



スタッフ一同

●受賞の理由

当社は、福祉事業所として訓練の一環で料理を作っており、自社農園で育てた野菜を使うことから工程の多くが手作りで、冷凍品や既製品をほとんど使用せず、おいしい料理を提供することで顧客から高い評価を得ている。

障害者従業員は「障害者である前に人間であること」という考えから、福祉に甘えることなく人の役に立つ人間教育を厳しく指導することで、質の高いサービスの提供も可能にしている。障害者従業員は働くことで必要とされている強い実感を得て、やり甲斐や生き甲斐を持つことができ、精神的・肉体的にも短期間に成長し戦力となる。現在、従業員のうち障害者は60名を数えている。また、厚労省の事業所認可を受けており一定の福祉専門員を常駐する必要があるが、自社で人材育成も行っており、安定した労働環境を整備している。

更に、魅力的な料理とサービスの提供が口コミによって広がることで集客に繋がり、一切広告を出す必要がないため、広告宣伝費相当額を食材原価に割り振ることで更に商品力を増強させる好循環を形成している。現在、11:30から15:30のランチのみの営業であるが、評判が良く予約の取れない時も多いほどである。

障害者の自立支援のためには従業員の収入も大事である。当社は補助金などの公的支援を受けながらも安定した収益性を確保することで、障害者従業員に対し、業界平均支給額（1～2万円程度）を大きく上回る最低賃金以上の給与（7万円以上）を支給することが可能となっている。また、雇用も縁故だけではなく、ハローワーク登録企業として募集しており、障害者雇用の促進に大きく貢献し評価が高い。

当社は、福祉的支援と民間的収益性のバランスを兼ね備えたこれまでにない新しいビジネスモデルを実践し、企業理念を常に意識した取り組みは高く評価できる。今後の障害福祉事業の模範となり更なる飛躍が期待できる企業である。